



KKR東海病院

とうかい

KKR とは？

国家公務員共済組合連合会の
頭文字をとった略称です。

第68号 2020.4
編集責任者 丸田真也(副院長)

東海病院憲章

東海病院は公共的な保健・医療・福祉サービスを行う施設であり、地域の人々の健康と福祉に資することを目的とする。

私たちのKoKoRo(心)構え

3つのS 誠意…Sincerity 奉仕…Service 考動…Science
東海病院職員は病院憲章の目的を達成するため、誠意・奉仕・考動の3つのSを大切にし、地域医療機関との緊密な連携に努め、限りない人間愛と責任をもって、地域の人々に保健・医療・福祉サービスを提供します。

新年度にあたり

副院長 丸田 真也 …… 1

消化器外科より

「腹腔鏡下直腸癌切除術後の
縫合不全を減らすための取り組み」
外科統括部長 山本 竜義 …… 2

乳房X線撮影装置のご紹介

富士フィルムメディカル
AMULET Innovality
Excellent-m 2D …… 3

骨密度検査のご案内 …… 3

東海病院・名城病院共催 病診連携勉強会 開催報告

副院長 兼、
地域連携室長 丸田 真也 …… 4

診療と交通のご案内 …… 4

新年度にあたり



東海病院
副院長 丸田 真也

今年の冬は記録的な暖冬で名古屋ではほとんど雪が降りませんでした。平年より数日早く桜が開花しましたが、お花見も自粛の風潮です。医療界のみならず世間では新型コロナウイルス感染症の話題でもちきりです。世界では欧米を中心にパンデミックとなり、東京オリンピックの延期が決まりました。日本では3月初めより大型イベントの自粛や学校閉鎖が行われ、何とか大流行を防ぐことができています。名古屋市では二つの集団発生があり、当院の近隣の病院でも院内感染が発生しており、予断を許さない状況が続いています。当院でも入院患者や入所者の面会を全面禁止とし、介護老人保健施設「ちよだ」の通所リハビリを3月は休業いたしました。状況が刻一刻と変化しているため、この冊子が届く頃には一変しているかも知れません。

今年度は診療報酬の改定がありました。重点課題として、医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進が挙げられています。一定数以上の救急搬送件数のある病院には加算が新設されましたが、残念ながら当院は対象外です。もう一つの柱として、医療機能の分化・強化、連携と地域包括ケアシステムの推進がこれまで以上に求められました。地域包括ケア病棟の要件が見直され、自院の一般病棟からの転棟 (post acute) を減らし、自宅からの入院、特に緊急入院 (sub acute) の推進を目指しています。また、増加する認知症やせん妄患者に対して、認知症ケア加算の細分化、せん妄ハイリスク患者ケア加算が新設されました。当院としては、地域包括ケア病棟や介護老人保健施設「ちよだ」を有効活用し、在宅医療を行っている地域の先生方と協力して、超高齢化社会に対応した地域医療、介護サービスに貢献できたらと思います。

本年度も皆さまからの温かいご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

「在宅療養支援病院」施設基準取得

令和2年4月、同基準の届出をおこないました。先生方の往診・訪問診療の患者さまの支援ができるよう対応させていただきます。

国家公務員共済組合連合会

東海病院

〒464-8512 名古屋市千種区千代田橋一丁目1番1号

☎ 052-711-6131 (代表)

☎ 052-712-0052

🌐 <https://www.toukaihospi.jp/>

東海病院 検索



「腹腔鏡下直腸癌切除術後の 縫合不全を減らすための取り組み」

外科統括部長 山本 竜義



縫合不全は、直腸癌の腹腔鏡下前方切除術後の最も重篤な合併症の1つで6.3%から13.7%にみられるとの報告もあります¹⁾。

縫合不全の原因の一つとしてDouble Stapling Technique法での構造的な脆弱部の問題があります。癌部を切除後、図に示すように直腸を切除した縫合線上を円形にくり抜き、自動的に吻合する自動縫合器 (circular stapler) を用いて、結腸と直腸を吻合します。この際、縫合線の交点 (staple on staple 部)、および外側縁 (dog ear) は、構造的な脆弱部と報告されています¹⁾。縫合不全を防ぐために、構造的に弱い部位をなくすべく、いろいろな取り組みがおこなわれています。

2012年から2019年の間に我々が行っている直腸癌に対する腹腔鏡下前方切除術の再建法にDouble Stapling Technique法を用いた34人を対象 (ストマ増設を行った症例は除外) とし、腹腔鏡下直腸癌術後縫合不全予防のための吻合部の縫合補強の成績を報告させていただきます。

手術手技:通常行われている手術では直腸管腔の中心に結腸管腔の中心を合わせることで、2か所の構造的に脆弱なstaple on stapleができますが、直腸切離線の左側外側縁を、circular staplerで打ち抜くことにより、1か所に減らすことができます。鏡視下に右側にできたstaple on staple部は吸収糸で縫合補強します。さらに直腸外側縁 (Dog ear) は埋没縫合しました。

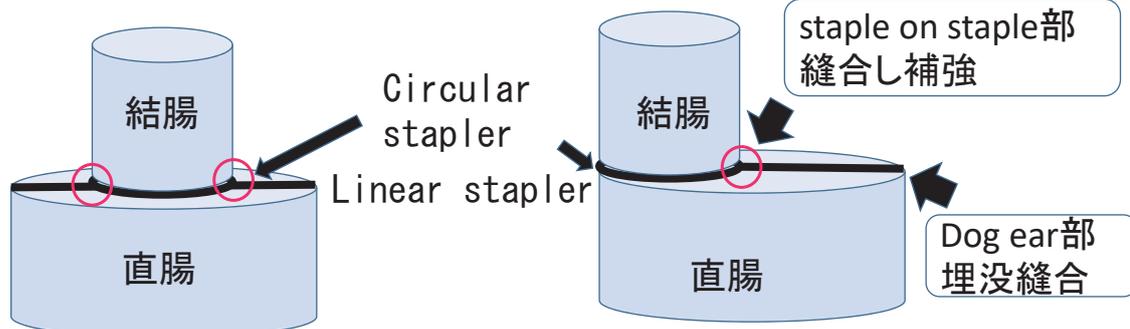
対象症例は男性16名、女性18名、年齢は70.5±11歳 (平均±SD:標準偏差)、BMIは20.8±4.1、pStage I/II/III/IVは 6/14/10/4でした。手術時間は348±71分、出血量は121±133mlで、縫合不全率は0%(0/34)でした。吻合狭窄等の吻合部関連の合併症は認めませんでした。

腹腔鏡下で縫合補強を行う手技は難易度も高く、手術時間も長いですが、脆弱な部の縫合補強が可能のため、縫合不全率は低下させることができます。

腹腔鏡下直腸切除, 縫合不全対策

通常の
Double Stapling Technique

当院で行っている方法
左側でCircular Staplerで吻合



文献 ; 1) SeungHun Lee :The Relationship Between the Number of Intersections of Staple Lines and Anastomotic Leakage After the Use of a Double Stapling Technique in Laparoscopic Colorectal Surgery. Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 2017;27:273-281

乳房X線撮影装置のご紹介

富士フィルムメディカル AMULET Innovality Excellent-m 2D

2020年3月、乳房X線撮影装置が新しくなりましたので、特長を紹介させていただきます。

新しい画像処理技術の利用で高画質かつ低線量（従来CRの約50%）で撮影が可能です。また、撮影時の圧迫による痛みに対して、圧迫後に減圧して痛みを軽減する“なごむね”（乳腺や脂肪組織に加えていた圧力を減圧しても、乳房の厚みはすぐには戻らない乳房の性質を利用）を搭載しています。

撮影直後に自動でNPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構が定める乳腺分類に沿った算出方法で乳腺量を計測します。高濃度の乳腺の方はマンモグラフィにおいて乳がんが見つげにくくなる危険性があります。乳腺量の客観的・定量的な評価ができることで、乳腺超音波併用をお勧めしやすくなると思われます。

当院では、検診マンモグラフィ撮影認定資格を持った女性技師が担当しております。女性スタッフの乳がん検診、患者様のマンモグラフィ検査の依頼がございましたら、よろしくお願いいたします。

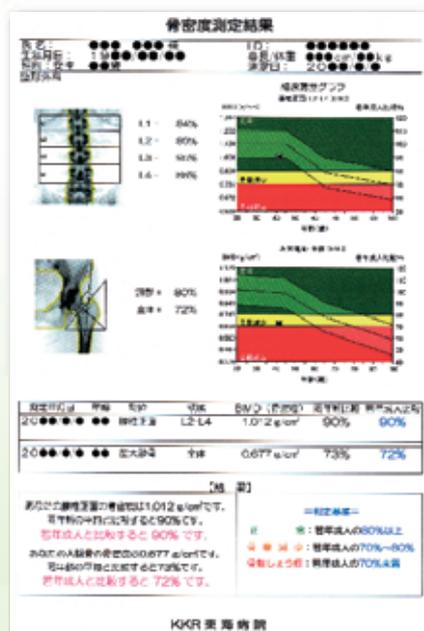


骨密度検査のご案内

平素よりCT・MRI検査をご依頼いただき、誠にありがとうございます。今回は骨密度検査についてご紹介させていただきます。

当院では、GE社製 PRODIGY X線骨密度装置を使用して腰椎および大腿骨近位部の骨密度を測定しています。DXA法（DEXA法）は誤差が少なく、放射線の被ばく量も少ないという利点があり、骨粗鬆症の診断における骨量測定の標準とされています。骨粗鬆症の検診で要精検となった方の精密検査や、骨粗鬆症の治療効果の経過観察、また骨折の危険性予測に、ぜひ当院の骨密度検査をご利用ください。

予約は電話で、放射線科でお受けさせていただきます。予約の際「骨密度検査の予約とお伝えください」。結果レポートは検査後、患者様にお渡しします。



東海病院・名城病院共催 病診連携勉強会 開催報告



副院長 兼、地域連携室長 丸田 真也

去る2月15日(土)の午後、ホテルルブラ王山にて病診連携運営協議会と、名城病院と共催の病診連携勉強会を開催しました。翌週以降は新型コロナウイルス感染症のため、このような勉強会や研究会は軒並みキャンセルになっており、ぎりぎりセーフでした。

今回はお二人の講師の先生をお招きして特別講演2題という形式で勉強会を行いました。一人目の講師の先生は愛知医科大学肝胆脾内科准教授の角田圭雄先生で、「トランプ時代のNASHの治療戦略2025」の演題名でした。NASHの患者は年々増加しており肝線維化が重要であることや、NASHの治療法についてご講演いただきました。二人目は名古屋大学大学院消化器内科学教授の藤城光弘先生に「早期消化管がんに対する内視鏡診療の進歩」をご講演いただきました。消化管がんの最新の検査治療の方法、さらには外科と共同で胃壁全層切除を行う新たな治療法について、動画を交えてわかりやすく教えていただきました。

当日は、43名の病診連携登録医の先生方にご参加頂き、東海病院職員37名、名城病院職員41名、合計121名と会場はほぼ満席の大盛況となりました。勉強会の後に懇親会を行い、多くの登録医の先生方と歓談することができました。



診療と交通のご案内

診療科目

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、外科、消化器外科、血管外科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、眼科、脳神経外科、皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科

受付時間

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~11:30	○	○	○	○	○	☆	/

休診日：日曜日・祝祭日・第2, 4土曜日・年末年始

☆第1, 3, 5土曜日の午前中は診療を受付けております。

※整形外科は8:30~11:00までの受付です。

※眼科は月~金曜日の受付です。

※皮膚科は木曜日の午後(13:00~14:00)のみの受付です。

※脳神経外科は、火曜日・木曜日のみの受付です。

※血管外科は、金曜日のみの受付です。(金曜日8:30~11:00 下肢静脈瘤)

※ご予約をとられている方の変更・キャンセルは各科外来窓口までお願いします。

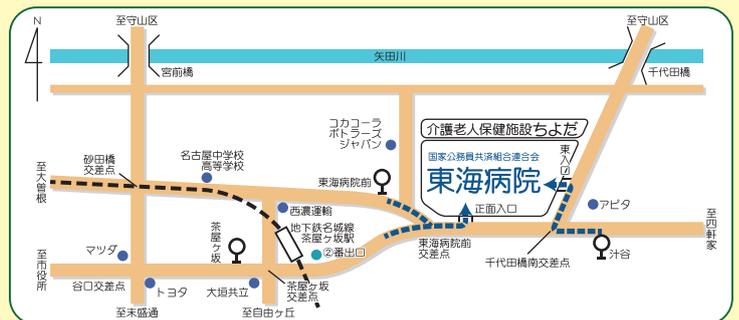
(月曜日~金曜日14:00~16:00)

アクセス

- 地下鉄で越しの場合
名城線「茶屋ヶ坂」駅②番出口より東へ300m(徒歩約7分)
- 市バス・名鉄バスで越しの場合
柴から <名鉄・基幹バス> オアシス21 ③番のりば(引山行)「汁谷」下車 徒歩約1分
名古屋駅から <市バス> 名古屋駅/バスターミナル ⑦番のりば(茶屋ヶ坂行)「茶屋ヶ坂」下車 徒歩約9分
<名鉄・基幹バス> 名鉄バスセンター ④番のりば(三軒家行)「汁谷」下車 徒歩約1分
- 駐車場 100台

無料送迎バス

- 運行日
月~金(土曜・日曜・祝祭日・12月29日~1月3日を除く)
- 乗降場所
地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅循環送迎バス：
病院発 → 地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅ロータリー → 地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅ロータリー → 病院
名鉄瀬戸線小幡駅循環送迎バス：
病院発 → 名鉄瀬戸線小幡駅ロータリー付近 → 地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅ロータリー → 病院



■名古屋駅方面から
出来町通りを瀬戸方面へ直進→
東海病院前の交差点(三叉路)を通過し<左折→
東海病院正面入口からお入りください。

■瀬戸・引山方面から
瀬港線(国道363号線、通称・基幹バスレーン・出来町通)を
名古屋方面へ→千代田橋南交差点を右折→
北進50Mの東入口からお入りください。

